

バス案内所の設置（八王子駅北口）

計画事業

現況及び課題

1日約3,000本のバスが発着している八王子駅北口は、目的地に行くのにどのバスに乗ればよいのか分かりづらく、利用者からの苦情が多い。
市内には多くの大学が存在し、学生（新1年生含む）にとっても利用しづらい。

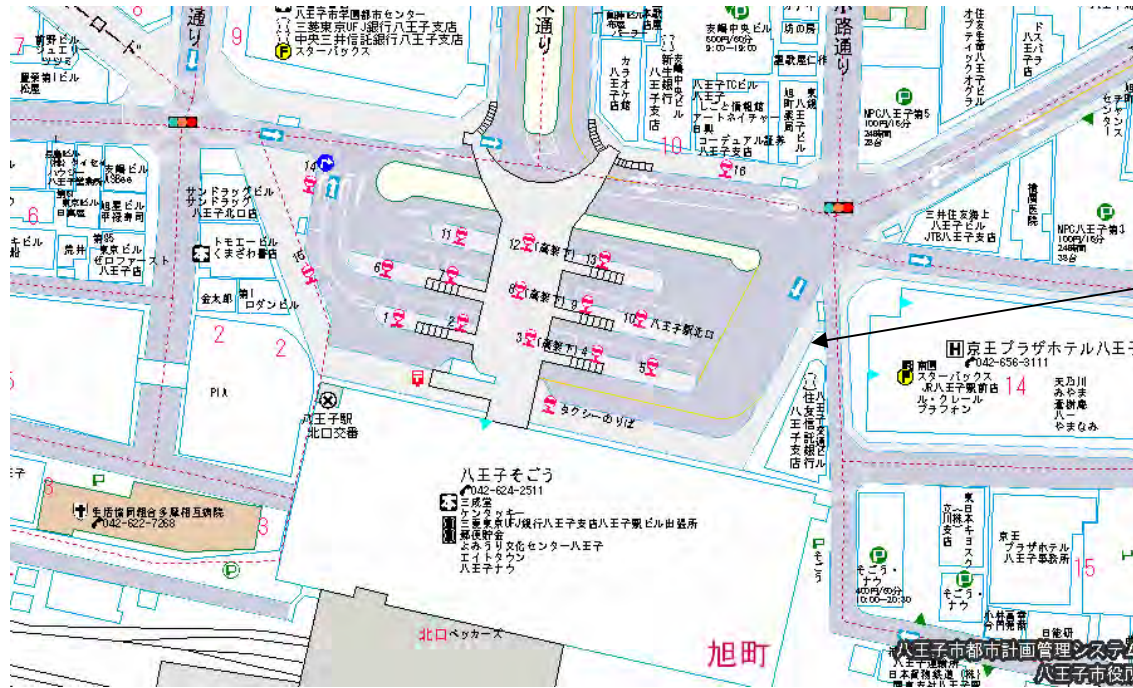
活性化の目標・方向性

バス案内所が設置されることにより、公共交通の利用円滑化が図れる。

実施する事業の内容

バス案内所の設置
◆八王子駅北口

八王子市：八王子駅北口駅前広場 バス案内所の設置



バス案内所

縮尺1/1000

八王子駅北口駅前広場 バス停上屋の設置（14番・15番）

計画事業

現況及び課題

14番・15番バス停は学生が主に利用しており、既設の乗場では対応できないため新たに設置。新たに設置したため上屋がなく、雨の日は利用者からの苦情が絶えない。雨の日はバスに乗車するまで傘をさしており、乗車するのに時間がかかる。

活性化の目標・方向性

上屋を設置することにより、雨の日のバスの乗車もスムーズになり、利用者の利便性が向上する。

実施する事業の内容

バス停上屋の設置
八王子駅北口駅前広場 14番・15番バス停

八王子市：八王子駅北口駅前広場 バス停上屋の設置（14番・15番）



14番

15番

12番

6番

6番乗場と12番乗場が既設バス停
14番と15番乗場は通学時間帯のみ利用（始発から10時29分まで）

縮尺は1/1000

コミュニティバス（はちバス）車輛の購入

計画事業

現況及び課題

東京都は、条例で定めた粒子状物質排出基準を満たさないディーゼル車の都内運行を規制している。八王子市で所有する3台の小型バス車輛は、東京都のディーゼル車規制の対象である。市民ニーズとして、新コースの設置や運行時間の延長など増便の要望がある。

活性化の目標・方向性

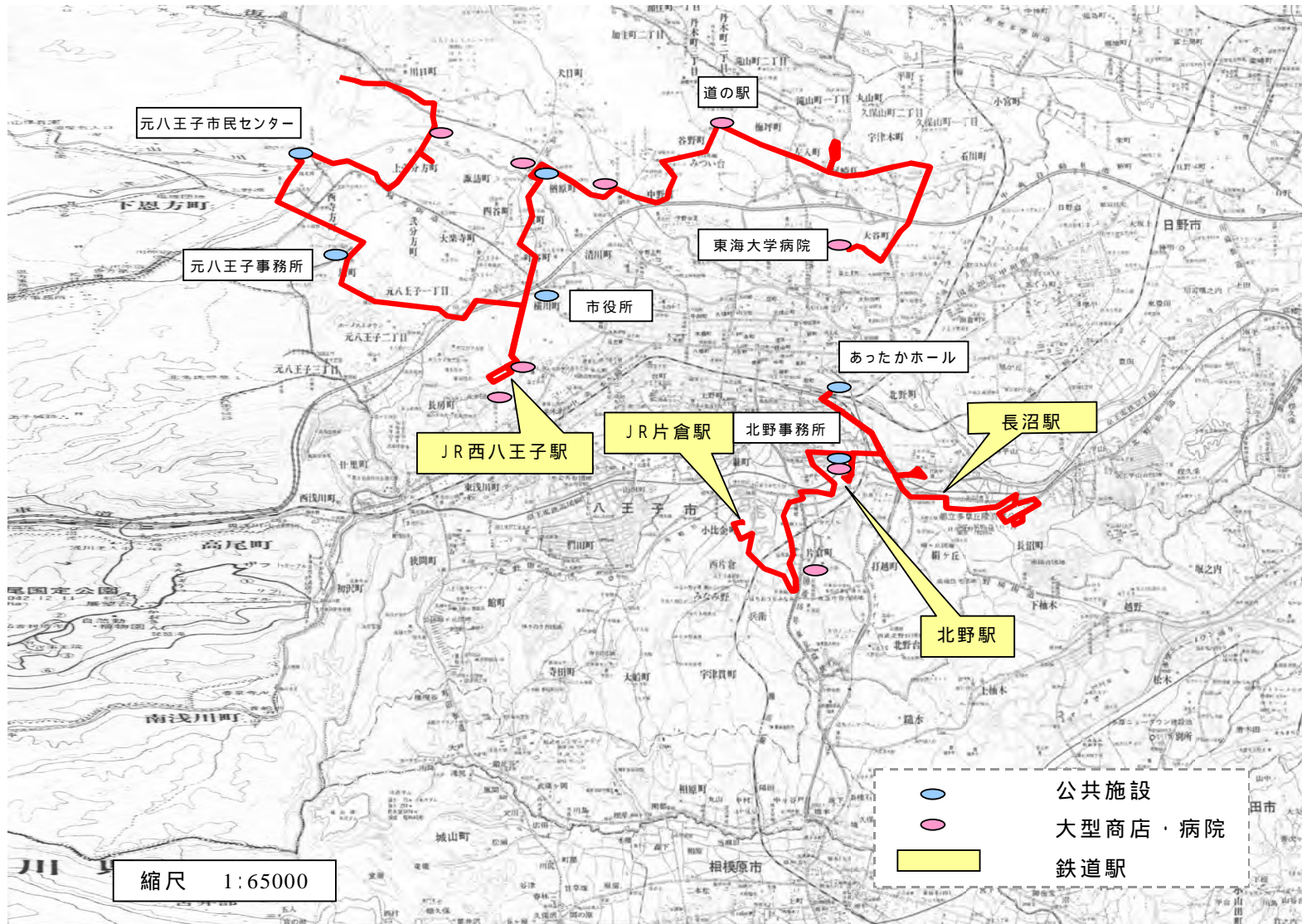
車輛の購入によって、乗車定員の増、居住性の向上、ICカード使用可等様々な利便性の向上を図る。

- 購入予定車輛の環境性能は、平成17年(新長期)排ガス規制に適合など環境負荷に配慮した車輛とする。
- 市民ニーズを踏まえたはちバスの運行形態の見直しのため検討をする。

実施する事業の内容

- 平成21年度に既存のコミュニティバス3台を買い換えとする。

八王子市 : はちバス路線図 (北西部・東部ルート)



山間地域交通改善モデル事業試行運行（小津地域）

計画事業

現況及び課題

排ガス規制により、現在運行中の小型路線バスが年内で終了。
小学生の通学にも利用しており、交通手段の維持が必要。
路線バスの代替交通として、乗用タクシーにより運行予定。
路線バスから乗用タクシーへの移行により、一度に乗車できる人員が減少することへの対策が課題。

活性化の目標・方向性

路線バスから乗用タクシーへの移行後も現在の便数を維持した上で、運行エリアの拡大及び乗用タクシーの利点であるドア・トゥ・ドアの実現で、利用者の利便性向上を図る。

実施する事業の内容

○小津町地域バス運行事業（～平成21年9月）

ルート 小津町 - 繊維団地 - 上野原 - 恩方車庫

本数 1日3.5往復

運賃 初乗り170円、最大290円

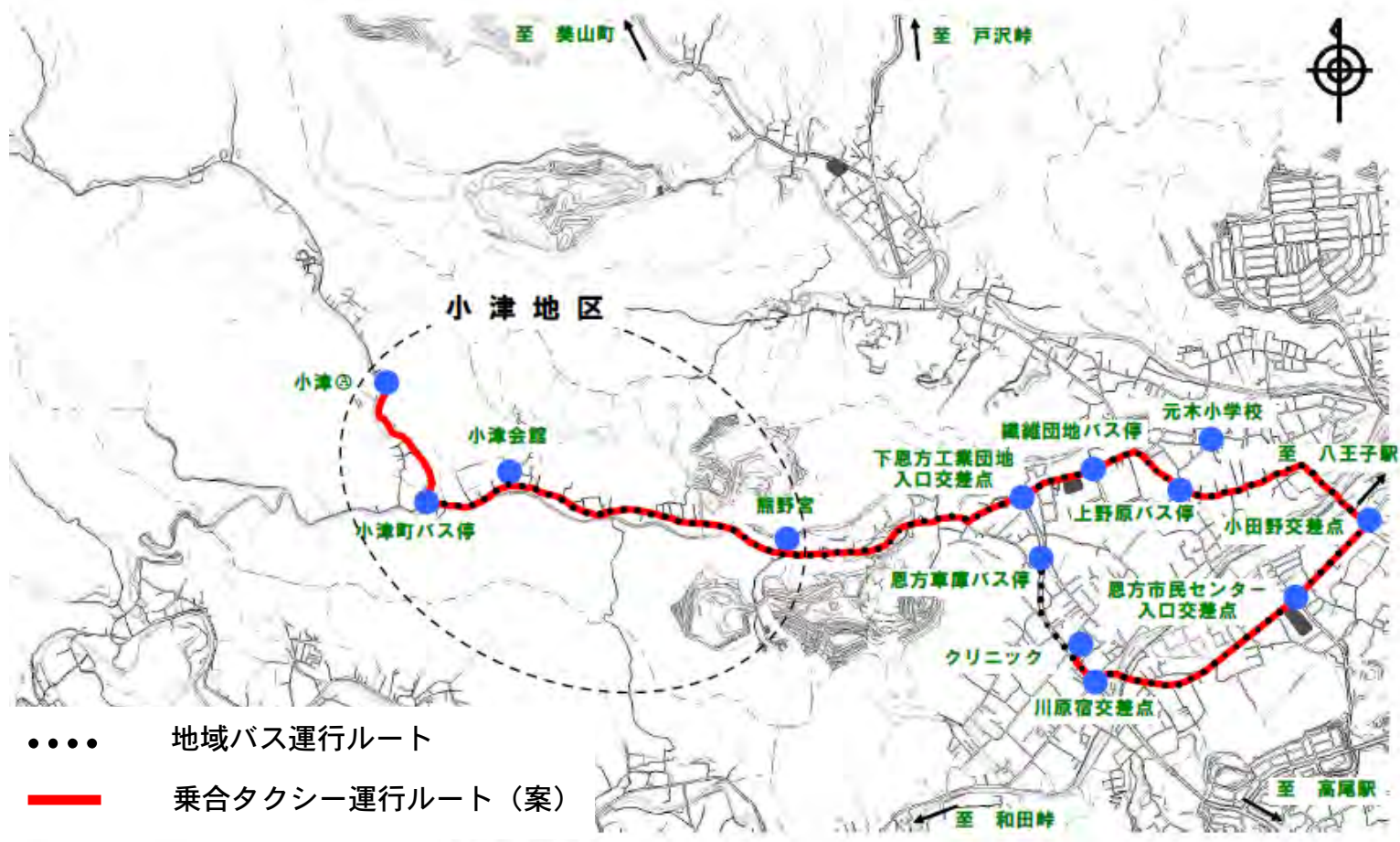
小津地区乗用タクシー運行事業（平成21年10月～）

ルート 小津地区 - 繊維団地バス停 - 上野原 - クリニック（ルートは現在調整中）

本数 1日3.5往復

運行料金 3,200円（30分時間制運賃。時間指定料金を含む。）

東京都八王子市 : 小津地区地域バス・乗用タクシー運行ルート



山間地域交通改善モデル事業試行運行（醍醐・降宿地域）

計画事業

現況及び課題

元々公共交通がない地域のため、日常生活は主に自家用車又は徒歩（最寄のバス停まで約2.5km）。高齢化が進み、自家用車や徒歩による移動が困難となってきた。
平成20年度に3か月間、乗用タクシーによる試行運行を実施。

活性化の目標・方向性

公共交通のない地域で、交通手段を確保する。
乗用タクシーの利点であるドア・トゥードアの実現で、利用者の利便性向上を図る。

実施する事業の内容

醍醐・降宿地区乗用タクシー運行事業（平成21年6月～）
ルート 醍醐・降宿地区 - 夕焼小焼バス停
本数 週2日、1日1往復
運行料金 3,200円（30分料金。時間指定料金を含む。）

東京都八王子市 : 醍醐・降宿地区乗用タクシー運行ルート

